

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成27年1月28日
【事業年度】	第42期（自平成25年5月1日至平成26年4月30日）
【会社名】	尾道ゴルフ観光株式会社
【英訳名】	Onomichi Golfkankou CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 吉田 大造
【本店の所在の場所】	広島県尾道市新浜一丁目8番5号 （上記は登記上の本店所在地であり、実際の本店業務は下記において行っております。）
【電話番号】	該当ありません
【事務連絡者氏名】	該当ありません
【最寄りの連絡場所】	広島県尾道市原田町梶山田1069
【電話番号】	（0848）38-0041
【事務連絡者氏名】	業務部長 定藤 一夫
【縦覧に供する場所】	該当ありません

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

元従業員による業務上横領事件が発覚いたしました。社内調査の結果、社長からの借入金を返済したように見せかけ
着服した偽装行為による業務上横領の事実が判明いたしました。

この調査を踏まえて、損害賠償請求権としての債権計上の要否、科目の妥当性の検討、その債権に対する貸倒引当金
の計上の要否、関連当事者との取引に係る記載の訂正等の要否を検討いたしました。

その結果、損害賠償請求権として短期貸付金から未収入金に33,080千円を振替るとともに、未収入金を20,000千円、
社長からの借入金を20,000千円、共に増加させております。

以上、過年度における財務諸表等の訂正が必要となったため、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、平
成26年7月31日に提出いたしました第42期（自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日）の有価証券報告書につい
て、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の財務諸表等については、公認会計士高橋和司氏により、再度監査を受けており、その監査報告書を添
付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(2) キャッシュ・フロー

4 事業等のリスク

(3) 有利子負債の依存について

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態の分析

第5 経理の状況

(2) 監査証明について

1 財務諸表等

(1) 財務諸表

貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(金融商品関係)

関連当事者情報

附属明細表

借入金等明細表

(2) 主な資産及び負債の内容

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみを記載しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

提出会社の状況

経営指標	単位	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
		平成22年 4 月	平成23年 4 月	平成24年 4 月	平成25年 4 月	平成26年 4 月
売上高	千円	263,572	232,232	225,361	235,744	224,735
経常利益又は経常損失()	千円	1,649	8,368	3,531	7,116	756
当期純利益又は当期純損失 ()	千円	505	10,006	3,906	5,497	2,016
持分法を適用した場合の投資利益	千円	-	-	-	-	-
資本金	千円	94,000	94,000	94,000	94,000	94,000
発行済株式総数	株	21,240	21,240	21,240	21,240	21,240
純資産額	千円	2,159,393	2,149,387	2,153,293	2,158,790	2,156,774
総資産額	千円	2,973,867	2,945,134	<u>2,937,045</u>	<u>2,903,621</u>	<u>2,932,029</u>
1株当たり純資産額	円	101,666.34	101,195.24	101,379.14	101,637.95	101,543.03
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当額)	円 (円)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額()	円	23.78	471.09	183.90	258.80	94.92
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	円	-	-	-	-	-
自己資本比率	%	72.61	72.98	<u>73.31</u>	<u>74.35</u>	<u>73.56</u>
自己資本利益率	%	0.02	0.47	0.18	0.25	0.09
株価収益率	倍	-	-	-	-	-
配当性向	%	-	-	-	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	千円	31,440	27,278	34,815	36,581	20,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	千円	10,878	11,333	<u>6,524</u>	<u>9,728</u>	<u>50,107</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	千円	29,398	18,788	<u>8,108</u>	<u>51,186</u>	<u>35,266</u>
現金及び現金同等物の期末 残高	千円	3,025	22,848	43,031	18,698	24,731
従業員数 [外、平均臨時雇用者数]	人	24 [21]	21 [20]	17 [16]	17 [16]	17 [16]

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3. 当社は関連会社がないため「持分法を適用した場合の投資利益」については記載しておりません。

4. 第39期、第42期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、また、第38期、第40期、第41期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 株価収益率は証券取引所非上場のため該当事項はありません。

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(2) キャッシュ・フロー

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度に比べ6,033千円増加し、当事業年度末には、24,731千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、20,874千円（前年同期は36,581千円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純損失859千円計上したこと、資金の支出を伴わない減価償却費が30,244千円あったこと、売上債権の増加3,054千円、リース債務の減少2,743千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、50,107千円（前年同期は9,728千円の使用）となりました。これは未収入金の取得による支出43,080千円、有形固定資産の取得による支出3,134千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、35,266千円（前年同期は51,186千円の使用）となりました。これは短期・長期借入金の差引増加額であります。

4【事業等のリスク】

(3) 有利子負債の依存について

事業用地の取得資金、コース造成資金、クラブハウス建築資金の一部を金融機関からの借入金により調達しているため、有利子負債の依存度が高い水準にあります。現行の金利水準が変動した場合には金利負担が増加し、当社の業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

最近2事業年度における有利子負債の状況は、次のとおりであります。

項目	平成25年4月期	平成26年4月期
有利子負債残高（千円）（A）	637,259	662,525
長短借入金（千円）	637,259	662,525
社債（千円）	-	-
総資産額（千円）（B）	2,903,621	2,932,029
有利子負債依存度（％）（A/B）	21.9	22.6

（注） 当社代表取締役吉田大造からの無利子借入金が平成25年4月期において10,000千円、平成26年4月期において20,000千円の残高があります。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

当事業年度末における資産合計は2,932,029千円（前事業年度末2,903,621千円）となり、28,408千円増加しました。具体的には現金及び預金の増加6,633千円、未収入金の増加45,982千円、有形固定資産の減少26,185千円となって現れています。

このうち、有形固定資産の残高は、2,812,007千円（前事業年度末は2,838,192千円）となり、26,185千円減少しました。これは有形固定資産の増減が3,031千円あったこと、減価償却費29,216千円を計上したためであります。

当事業年度末における負債合計は、775,255千円（前事業年度末744,831千円）となり、30,424千円増加しました。これは、主として借入金の増加35,266千円、リース債務の減少2,743千円、未払法人税等の減少1,799千円によるものです。

その他、大きな変動はありません。

第 5 【経理の状況】

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第42期事業年度（平成25年5月1日から平成26年4月30日まで）の財務諸表について、公認会計士高橋和司氏により監査を受けております。

なお、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の財務諸表について、公認会計士高橋和司氏により監査を受け、監査報告書を受領しております。

1 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当事業年度 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,698	25,331
売掛金	5,303	5,455
未収入金	20,151	66,133
商品	657	1,205
原材料	361	348
貯蔵品	603	503
繰延税金資産	373	292
未収還付法人税等	-	616
立替金	-	38
貸倒引当金	22	45
流動資産合計	46,124	99,876
固定資産		
有形固定資産		
建物	455,104	455,624
減価償却累計額	307,816	312,910
建物（純額）	147,288	142,714
構築物	885,463	885,463
減価償却累計額	708,556	729,274
構築物（純額）	176,907	156,189
機械及び装置	71,811	72,649
減価償却累計額	68,265	68,072
機械及び装置（純額）	3,546	4,577
車両運搬具	20,451	20,451
減価償却累計額	20,451	20,451
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	66,908	67,548
減価償却累計額	55,044	56,024
工具、器具及び備品（純額）	11,864	11,524
リース資産	8,790	8,790
減価償却累計額	1,008	2,592
リース資産（純額）	7,782	6,198
コース勘定	1,640,068	1,640,068
土地	758,257	758,257
立木	92,480	92,480
その他	238	238
減価償却累計額	238	238
その他（純額）	-	-
有形固定資産合計	2,838,192	2,812,007

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当事業年度 (平成26年4月30日)
無形固定資産		
リース資産	4,284	3,256
電話加入権	607	607
水道施設利用権	324	285
無形固定資産合計	5,215	4,148
投資その他の資産		
出資金	200	200
差入保証金	5	5
長期前払費用	4,078	6,085
繰延税金資産	9,807	9,708
投資その他の資産合計	14,090	15,998
固定資産合計	2,857,497	2,832,153
資産合計	2,903,621	2,932,029
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,332	2,179
買掛金	1,318	1,494
短期借入金	163,537	112,337
1年内返済予定の長期借入金	104,258	104,191
リース債務	2,743	2,743
未払費用	19,206	18,921
預り金	2,929	2,867
仮受金	22	-
未払消費税等	915	2,267
未払法人税等	2,288	489
賞与引当金	800	750
流動負債合計	301,348	248,237
固定負債		
長期借入金	379,464	465,997
会員預り金	28,900	28,900
リース債務	9,927	7,184
退職給付引当金	25,192	24,937
固定負債合計	443,483	527,018
負債合計	744,831	775,255

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当事業年度 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,000	94,000
資本剰余金		
資本準備金	2,034,786	2,034,786
資本剰余金合計	2,034,786	2,034,786
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	30,004	27,988
利益剰余金合計	30,004	27,988
株主資本合計	2,158,790	2,156,774
純資産合計	2,158,790	2,156,774
負債純資産合計	2,903,621	2,932,029

【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日)	当事業年度 (自 平成25年5月1日 至 平成26年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	7,135	859
減価償却費	30,684	30,244
固定資産除却損	-	103
無形固定資産償却費	40	40
賞与引当金の増減額（ は減少）	500	50
退職給付引当金の増減額（ は減少）	2,013	255
貸倒引当金の増減額（ は減少）	19	23
長期前払費用償却額	869	1,286
受取利息及び受取配当金	2	2
支払利息	13,340	13,155
売上債権の増減額（ は増加）	192	3,054
たな卸資産の増減額（ は増加）	743	434
その他の流動資産の増減額（ は増加）	14	38
仕入債務の増減額（ は減少）	2,178	977
リース債務の増減額（ は減少）	-	2,743
未払消費税等の増減額（ は減少）	991	1,352
その他の流動負債の増減額（ は減少）	60	371
小計	50,896	37,420
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	13,340	13,155
法人税等の支払額	977	3,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,581	20,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	600
有形固定資産の取得による支出	3,919	3,134
長期前払費用の取得による支出	809	3,293
未収入金の取得による支出	5,000	43,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,728	50,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（ は減少）	1,300	51,200
長期借入れによる収入	80,000	447,000
長期借入金の返済による支出	129,886	360,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,186	35,266
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	24,333	6,033
現金及び現金同等物の期首残高	43,031	18,698
現金及び現金同等物の期末残高	18,698	24,731

【注記事項】

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に関する取り組み方針

当社は、ゴルフ場建設資金として必要な資金（主に銀行借入）を調達しております。

一時的な余資は、流動性の高い預金で運用し、また、短期的な運転資金を銀行借入により調達しております。

投機的な取引は一切行なわない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は顧客の信用リスクに、未収入金は尾道うずしおカントリークラブの会員の信用リスクに晒されております。

営業債務である支払手形、買掛金、未払費用及び未払金は、4ヶ月以内の支払期日であります。

借入金はゴルフ場建設資金として調達したものであり、借入金の返済期日は決算期後10年であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスクの管理

当社の売掛金は、当クラブの会員のプレー費であり、そのほとんどがクレジットによる支払であるため、1ヶ月以内には回収可能なものであります。従って、顧客の信用リスクを伴うものは少額であります。顧客ごとに期日管理を徹底して回収懸念の軽減を図っています。

未収会費は、会員ごとに期日管理をしており、また、株券を譲受けた新たな会員が入会する時に、滞留した債権を精算することとしており回収懸念の軽減を図っています。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

借入金及び社債に係る支払金利の変動リスクに対しては、できるだけ固定金利にすることによりリスク負担を軽減しています。

２．金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注）２．参照）。

前事業年度（平成25年４月30日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	18,698	18,698	-
(2) 売掛金	5,303	5,303	-
(3) 未収入金	<u>20,151</u>	<u>20,151</u>	-
（資産計）	<u>44,152</u>	<u>44,152</u>	-
(1) 支払手形	3,332	3,332	-
(2) 買掛金	1,318	1,318	-
(3) 短期借入金	163,537	163,537	-
(4) 1年内返済予定の長期借入金	104,258	104,234	24
(5) リース債務（流動負債）	2,743	2,633	110
(6) 未払費用	19,206	19,206	-
(7) 未払消費税等	915	915	-
(8) 未払法人税等	2,288	2,288	-
(9) 長期借入金	<u>379,464</u>	<u>379,380</u>	84
(10) リース債務（固定負債）	9,927	9,509	417
（負債計）	<u>686,987</u>	<u>686,352</u>	635

当事業年度（平成26年4月30日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	25,331	25,331	-
(2) 売掛金	5,455	5,455	-
(3) 未収入金	66,133	66,133	-
（資産計）	96,919	96,919	-
(1) 支払手形	2,179	2,179	-
(2) 買掛金	1,494	1,494	-
(3) 短期借入金	112,337	112,337	-
(4) 1年内返済予定の長期借入金	104,191	104,336	145
(5) リース債務（流動負債）	2,743	2,645	98
(6) 未払費用	18,921	18,921	-
(7) 未払消費税等	2,267	2,267	-
(8) 未払法人税等	489	489	-
(9) 長期借入金	465,997	466,618	621
(10) リース債務（固定負債）	7,184	6,913	271
（負債計）	717,802	718,199	397

（注）１．金融商品の時価の算定方法に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、(3) 未収入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

負 債

(1) 支払手形、(2) 買掛金、(3) 短期借入金、(6) 未払費用、(7) 未払消費税、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

(4) 1年内返済予定の長期借入金、(5) リース債務（流動負債）、(9) 長期借入金、(10) リース債務（固定負債）

これらの時価は、元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割引いた現在価値により算定しております。

２．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

	貸借対照表計上額
会員預り金	28,900

返済日が確定していないため、時価を把握することが極めて困難と認められることから、負債には含めておりません。

３．金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成25年４月30日）

	１年以内 （千円）	１年超 ５年以内 （千円）	５年超 10年以内 （千円）	10年超 （千円）
現金及び預金	18,698	-	-	-
売掛金	5,303	-	-	-
未収入金	<u>20,151</u>	-	-	-
合計	<u>44,152</u>	-	-	-

当事業年度（平成26年４月30日）

	１年以内 （千円）	１年超 ５年以内 （千円）	５年超 10年以内 （千円）	10年超 （千円）
現金及び預金	25,331	-	-	-
売掛金	5,455	-	-	-
未収入金	<u>66,133</u>	-	-	-
合計	<u>96,919</u>	-	-	-

４．短期借入金、長期借入金及びリース債務の決算日後の返済予定額

前事業年度（平成25年４月30日）

	１年以内 （千円）	１年超 ２年以内 （千円）	２年超 ３年以内 （千円）	３年超 ４年以内 （千円）	４年超 ５年以内 （千円）	５年超 （千円）
短期借入金	163,537	-	-	-	-	-
長期借入金	104,258	88,156	84,396	67,411	45,322	<u>94,179</u>
リース債務	2,743	2,743	2,743	2,743	1,165	533
合計	270,538	90,899	87,139	70,154	46,487	<u>94,712</u>

当事業年度（平成26年４月30日）

	１年以内 （千円）	１年超 ２年以内 （千円）	２年超 ３年以内 （千円）	３年超 ４年以内 （千円）	４年超 ５年以内 （千円）	５年超 （千円）
短期借入金	112,337	-	-	-	-	-
長期借入金	104,191	91,079	72,963	62,576	56,225	<u>183,154</u>
リース債務	2,743	2,743	2,743	1,165	456	77
合計	219,271	93,822	75,706	63,741	56,681	<u>183,231</u>

【関連当事者情報】

前事業年度（自 平成24年 5 月 1 日 至 平成25年 4 月30日）

種類	氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	吉田 大造	広島県 尾道市	-	当社代表取 締役	(所有) 直接 4.5	資金援助 (無利息)	-	増加 20,000 減少 45,000	長期借 入金	10,000

当事業年度（自 平成25年 5 月 1 日 至 平成26年 4 月30日）

種類	氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	吉田 大造	広島県 尾道市	-	当社代表取 締役	(所有) 直接 4.5	資金援助 (無利息)	-	増加 46,000 減少 36,000	長期借 入金	20,000

この借入金は、損害賠償請求権としての未収入金53,080千円の貸倒リスクに備えるための担保としての性質を有するものです。

【附属明細表】

【借入金等明細表】

区分	当期首残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	163,537	112,337	2.06	-
1年以内返済予定の長期借入金	104,258	104,191	1.95	-
1年以内に返済予定のリース債務	2,743	2,743	-	-
長期借入金（1年以内返済予定のものを除く）	379,464	465,997	1.95	平成35年8月20日
リース債務（1年以内に返済予定のものを除く）	9,927	7,184	-	平成31年7月17日
その他有利子負債	-	-	-	-
合計	659,929	692,452	-	-

（注）1．平均利率については、期末借入金残高に対する加重平均利率を記載しております。

2．リース債務の平均利率については、リース料総額に含まれる利息相当額を控除する前の金額でリース債務を貸借対照表に計上しているため記載しておりません。

3．長期借入金及びリース債務（1年以内に返済予定のものを除く。）の貸借対照表日後5年間の返済予定額は以下のとおりであります。

	1年超2年以内 (千円)	2年超3年以内 (千円)	3年超4年以内 (千円)	4年超5年以内 (千円)
長期借入金	91,079	72,963	62,576	56,225
リース債務	2,743	2,743	1,165	456

(2) 【主な資産及び負債の内容】

資産の部

流動資産

(1) 現金及び預金

区分	金額（千円）	
現金		18,588
預金	当座預金	5,883
	普通預金	260
	積立預金	600
		6,743
合計		25,331

(2) 売掛金

相手先	金額（千円）
(株)中国しんきんカード（ＪＣＢ）	1,543
(株)中国しんきんカード（ＶＩＳＡ）	1,357
(株)ひろぎんティーシーカード	482
ユーシーカード(株)	169
三菱ＵＦＪニコス(株)	148
(株)ＵＦＪカード 他	1,756
合計	5,455

（注） 売掛金はすべて顧客に対するグリーンフィー等諸料金の未収であります。その滞留期間は20日であります。

(3) 未収入金

区分	金額（千円）
個人会員年会費	12,826
法人会員年会費	227
損害賠償請求権	53,080
合計	66,133

(4) 商品

品名	金額（千円）
ゴルフ用品	1,056
たばこ	142
飲料水（茶店、自販機用）	7
合計	1,205

（後略）

独立監査人の監査報告書

平成27年 1 月28日

尾道ゴルフ観光株式会社

取締役会 御中

高橋和司公認会計士事務所

公認会計士 高橋 和司 印

私は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている尾道ゴルフ観光株式会社の平成25年5月1日から平成26年4月30日までの第42期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、尾道ゴルフ観光株式会社の平成26年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、財務諸表を訂正している。なお、私は、訂正前の財務諸表に対して平成26年7月30日に監査報告書を提出した。

利害関係

会社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は有価証券報告書提出会社が保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。